

オニバイド+1-LV 5-FU療法

〈対象疾患〉膵臓癌

治療内容(1クール期間: 14日・総クール数: 回)

	薬品名	1日投与量	手技	投与ルート	投与時間 ・速度	投与日 1...3.....14
①	生理食塩水	50ml	ルート キープ・ フラッシュ 用	主管		day 1
②	パロノセトロン(0.75mg) デキサート(6.6mg) 生理食塩水	1V 1V 100ml	点滴静注	側管	30分	day 1
③	5%ブドウ糖 オニバイド	500ml 70mg/m ²	点滴静注	側管	90分	day 1
④	生理食塩水	50ml	点滴静注	③終了後 側管	全開で	day 1
⑤	5%ブドウ糖 レボホリナート	250ml 200mg/m ²	点滴静注 備考注(1)	側管	2時間	day 1
⑥	生理食塩水 5FU	全量で140ml 2400mg/m ²	インフュージョン	主管	46時間	day 1- 3
⑦	ポート用生食注シリンジ	20ml	ルート確保 用・フラッシュ 用	主管		day1, 3
⑧						

〈備考〉

※【内服】

デカドロン錠 8mg/日 day2.3 朝昼食後
中等度催吐性(2剤)

オニバイド(L0:70mg/m², L1:50mg/m², L2:43mg/m²) 5-FU(L0:2400mg/m², L1:1800mg/m², L2:1350mg/m²)

※UGT1A1*6もしくは*28のホモ接合体、UGT1A1*6及び*28のヘテロ接合体の場合→オニバイド50mg/m²へ減量して開始する。(L0:50mg/m², L1:43mg/m², L2:35mg/m²)

2週を1クールとして繰り返す インフュージョンポンプ使用

注(1)レボホリナートをルートに接続する際は、スパイクセットを装着し、側管から投与する